

「千歳山の再生に向けた植樹体験」の開催について

平成29年9月14日（木）に、市民の方々の参加による植樹イベントを山形市と共催で実施しました。今年は開催日前日まで天候が不順な日々が続いていましたが、開催当日は残暑の中、時折秋の気配も感じさせるような心地よい風がそよぐ中、植樹活動するには恵まれた日でした。



今年の参加者は17名でした。早々に募集予定の人数に達したため、後から希望された方は、安全を考慮して残念ながらお断りさせていただきました。

多くの皆様の「千歳山の松林の再生」に対する関心の高さや熱意をあらためて感じました。参加をご希望された皆様に対しまして御礼を申し上げます。ありがとうございました。



開会式

植樹のほか、当署が本地区において実施している「ナラ枯れ・松くい虫等の病虫害被害対策事業」や「落石防止のための治山事業」の取り組みや千歳山の植生などについて説明しました。



↑ 治山の説明

↓ 植生の説明



↑ 病虫害対策の説明 →



植栽した苗木は松くい被害対策として、抵抗性アカマツのコンテナ苗を使用しました。

また、植栽する道具は唐鍬のほか、今年からコンテナ苗の植栽器具（スペード）を使用しました。参加者からの感想は「植え付けが簡単」と好評でした。また、スペードの使用により予定時間を大幅に短縮でき、急傾斜地である箇所での作業についても安全にできました。



コンテナ苗とスペード



植樹状況

参加された皆様は、千歳山における当署の事業と松林の再生の取り組みについて、ご理解いただいたことと思います。

また、山形市職員の皆様のサポートに感謝申し上げます。

今後も市民から親しまれる「千歳山の再生」に向けた取り組みは、今後も地域と一体となって進めていきます。御協力よろしく申し上げます。

